大阪城
2021
7/26
(月)
14/84
号

あと2週間、オリンピックの騒ぎは続くようだが、8月の敗戦の日や盆をこして、8/24(火)～9/5(日)のパラリンピックが終ったころ、コロナの情況や、社会の政治経済情勢は秋風とともに、どんな風景になっているだろうか？

もちろん、2週間のオリンピックや、その後のパラリンピックなどを無事しのぎきることも重要なのかもしれないが、その後の日本社会の姿が見えてこない。秋の臨時国会解散、総選挙の中で、敗れされるのだろうが、次の時代を切り開くエネルギーや方向性はどのように見いだしていくのだろうか。

コロナウィルスで苦しみ、死んでいく現実を足下にして座の世界の平和の祭典だと、メダルの数に酔う時間はやがて終る。

もちろん、政治の世界では、すでに選挙は始っていて、自民党の内部でも、派閥どうしで、公認をめぐり山口、群馬、新潟では、二階派だ、山岸田だ、安倍だとケンカが始ってはいる。当事者たちには必死で必死だが、そんなことだけでいいのか、ということだろう。

金港湾
西成介会
ごんわ
6647-
4947

センター求人　下げ止まりか？

去年、コロナの感染が始まり求人状況が悪化しました。

感染の波がウイルスの変異を受けて数次にわたって押し寄せてきているので。なかなか求人の回復はままならない状況で「どこまでさがるのか」という思いでしたが、「最悪の状況でさげどまり」というながれになっているようです。

ようやく「梅雨も終わって」、例年のパターンで言うと「猛暑期の求人」がでてくる時期ではあるのですが、壮年者のワクチンがまだまだなので、通常になるにはまだかもしれません。

６月の地域求人数		対前月増減比	対前年同月増減比
現金（日払い）	13323	33.0%	−4.5%
契約（延べ数）	10290	5.2%	31.0%
高齢者清掃ほか	5486	13.1%	-0.4%

西成労働福祉センター　「センターだより」より